

板野中学校全体学習 8～10年目

人権を語り合う中学生交流集会

30代女性 TC メール

吉成先生。

お久しぶりです！返信ができてなくてすみません！！
今は、2人の育児中で自分時間が無い毎日です。

中学を卒業してからもあの頃の友人とはずっとつながっています。

全体学習で本音で語り合い気持ちを伝えあったからこそ何年経っても特別な友人です。

年齢を重ねる事に学生時代の友人の大切さを感じます。ただ一緒に遊ぶだけでなく、たくさんの時間を過ごせた事は、私にとって宝です。

娘が2人いますが、私の中学時代のように良い先生や友人に出会い、生き生きと遊び学習してもらいたいと思います。

板野中学校全体学習 8～10年目

30代女性 NN メール

吉成先生へ

先日はお電話をいただきありがとうございました。中学生のときの全体学習についての意見をお送りする件で、返事が遅くなって申しわけございません。以下の文章で「おへんじ」とさせていただきます。よろしくお祈りいたします。

ちなみに私は現在、兵庫県の西宮市役所で障害を持つ方のケースワーカーとして日々忙しく働いております。役所勤めは10年目で、徳島を離れてすでに16年になります。吉成先生も大学院に戻られているとのこと、ますますのご活躍をお祈りしております☆

「全体学習について」

中学生の頃に行った「全体学習」について思い返すと、色々と一所懸命に自分や周りの仲間のことについて考えていたと思います。全体学習のきっかけというのは、同和問題についての理解を深め、差別解消に向けて取り組んでいく、というのが主な出発点だったと記憶していますが、話し合いはそれにとどまらず、クラスメイトの個別の問題や、進路の問題など具体的なところにまで及び、時には自分も熱く思いを語っていたなあと感じます。同和問題自体が、中学生にとっては分かりにくいものであったし、子供ながらになんとなく口に出しにくいという雰囲気があり、全体学習の時間がいやだなあと感じたことも多分あったと思います。しかし、今思い返せば、そういう時間があってよかったなあと感じています。なぜならば、全体学習の場では、自分のことをオープンに話せて、それをみんなが受け入れられるという体制が整っていたからです。そういう場所がなければ、私は未だに、同和地区の人に対して「触れてはいけない」気持ちを持っていたかもしれないし、その人がもつ心の悩みに対して全く理解できなかったかもしれないからです。同和問題は目に見えないからこそ、その人の内に持っている問題が分かりにくく、解決も難しいのだと思います。

現在私は関西に住んでいますが、同和地区に対する偏見はたまに耳にして、複雑な思いになることがあります。もっとそのような問題がオープンで、みんなが自分の問題として考えることができたなら、そのような偏見はもっと早くなくなっていくのではないかと思います。また、私は仕事で心や身体に障害を持つ人と日常的に関わって

いますが、関わる前と後では、その人たちに対する思いが全然変わってきたと感じています。その人たちがもつ悩みに気づくと、その人を差別しようという気持ちなどいつの間にかなくなっているのです。

最近では、障害を持つ人や同性愛の人など、様々な人が自分のことをオープンにして積極的に社会に出ていると感じます。そのようなことは、社会にとってはとても大切なことだと思いますし、同和問題も同じような形でオープンに語られるべきだと考えています。

中学生の頃は、色々と思うことも多く、たくさん理想も語っていましたが、なかなか思うように具体的な行動を起こせずに、ただお茶を濁してしまうような一面があるなあと思いますが、それでも、当時の仲間と語り合ったことは、今でも大切に覚えていますし、そのような熱い気持ちを忘れずに、日々頑張っていかなければとも思っています。全体学習のような取り組みが、様々な所で広がり、みんなが自分のことをオープンにできる場所が少しでも増えればと思っています。

板野中学校全体学習 8～10年目

30代女性 MD メール

あの頃の全体学習が今にどう活かされているかってことなんですが、きっとあの場所でみんなで色んなことを考え、意見を言い合ってたことが、今の私の基礎を作っていると思います。

13歳から15歳の多感な時期に、自分の意見を人の前、しかも大勢の前で話したことで根性が出来たと思うし、自己主張の力もついたと思います。私は活発な方ですが、最初の頃は、周りの子たちに発表したり、自分のことを話すことで、どう思われるか不安でしたが、そのうちに、恥ずかしさや不安な気持ちより、「私の気持ちや思いを伝えたい」と思うようになってた気がします。

今職場で、人を惹きつけて話するのが上手と言われるのも、きっとあの時、全体学習で身につけたものが、大いにあると思います。同僚や職員だけでなく、患者さんとのコミュニケーションをとる時も聴くこともそうですが、自分のことを話すと言うことに躊躇しないのも、あの時に慣れていたからだなと感じます。

あと、答えはひとつではない。人には色んな思いがあって、人と一緒である必要はないとも、あの頃の学習があったから今思っているのかもしれない。自分と違う意見の人に壁を作るのではなく、そんな考え方もあるんだなって考えられる力をあの時につけてもらえたのかもかもしれません。

文章力がなくて、本当に申し訳ないですが、これが私の思う全体学習かなって思います。

お忙しいとは思いますが、もお若いんで体調に気をつけて、無理せんようにね。

また、一緒に飲みましょう。